

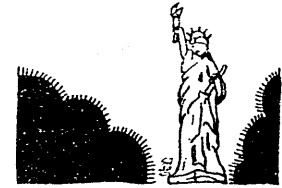
する議会側の批判は鋭く、民主党政権時代の、かつてニクソン候補が大統領選挙戦でジョンソン政権の失敗の主因として激しく攻撃した OEO の「貧困戦争プログラム」の拡充・復活を促す声すらあがっている。

いまやニクソン政権は、かかる事態の責任を問われており、収拾策の一つとしてこの法案成立にかける期待はなみなみならぬものがある。しかし波乱が予想される上院審議において昨年同様会期切れで審議未了とならぬ様、すべてのアメリカ国民は現在法案審議の成行きを見守っている。

Christian Science Monitor, July 28, 31; Aug. 11 1971; *U. S. News & World Report*.

(藤田貴恵子 国立国会図書館)

保険の対象として 「背骨指圧療法」認可される



(アメリカ)

本当の医療かどうか大論争の末、先週凱歌は「指圧師」の方に上った。ニューヨーク州知事が指圧療法を健康保険給付の対象とする法案に署名した。これでもって、指圧療法師たちのめざす最終ゴールである連邦レベルでの専門職確立とメデケアとメデケイドのなかにこの療法を正式に認めることへの一步を大きく進めた、とみられる。

医学界では、伝統的に指圧師は「にせ医療」を行っているという見解をとってきている。科学的医療に反し、患者の治ゆをおくらせるという見解は保険者もとってきたのであるが、この法案通過による打撃はかくすべくもない。

しかし、1895年以來とられてきたこの「指圧」をうけるものは、1963～64年間だけでも全米で400万人とみられ、約2万人の指圧師

がいるものと予想される。

X線も用い、関節炎、ぜんそく、座骨神経痛、かぜ、頭痛、消化器疾患などの治ゆを薬なしに行なうのが特色である。指圧師になるためには2年の大学課程のあと、4年間の指圧学校を修了しなければならない。

指圧師側からの政治的圧力の存在もあるが、今日のアメリカ医療の状況、患者の医療への期待との関係もみのがせない。

New York Times Weekly,
July 18, 1971.

(前田信雄 国立公衆衛生院)